

2020年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（共通外国語） 英語 全2枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 2枚、解答用紙 1枚を配付する。

次の英文を読み、以下の間に答えなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

（出典：Steven Pinker (2015) “Thinking Does Not Imply Subjugating.” John Brockman ed., *What to Think About Machines That Think*, Harper Perennial, pp.5-8. 一部改変）

語注：vindicate 擁護する、amok 暴れ狂って、putrid carrion 腐肉

- 問1 下線(1)を日本語に訳しなさい。
- 問2 下線(2)の the computational theory of reason の内容を端的にまとめてある英文を第1～第2パラグラフの中から探し、抜き書きしなさい。
- 問3 下線(3)を日本語に訳しなさい。
- 問4 著者はAIの未来について (a)楽観的か、それとも(b)悲観的か？どちらかを選択した上、その理由を本文に即して日本語で200字程度にまとめなさい。